

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。 ※内は、ロットNO.表示位置を示します。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意…取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

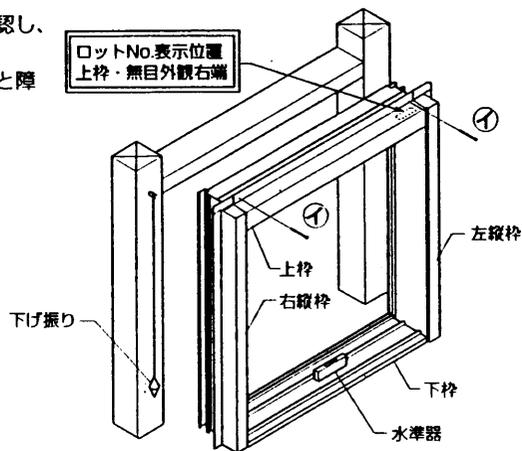
●本製品の組立て後の製品重量は障子1枚当たり最大で60kgになります。対応する人数で施工および建込みを行ってください。おもわぬけがをすることがあります。

■取付け順序

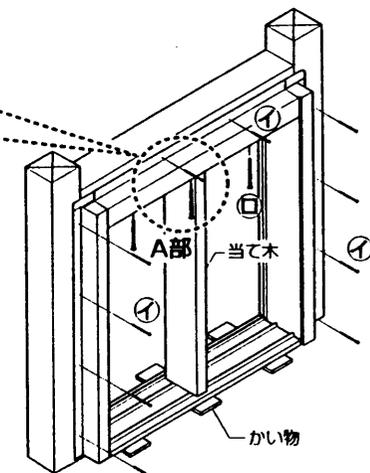
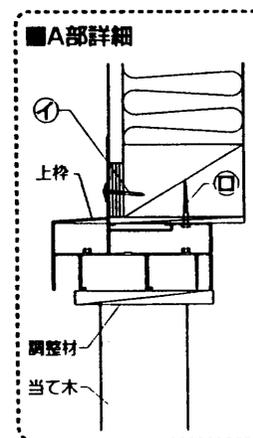
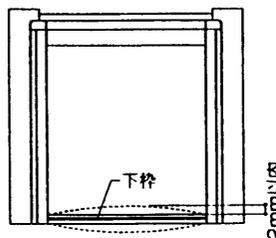
1 枠の取付け

①開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

※水平・垂直がでない限り障子の開閉が重くなります。必ず確認してください。



②下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、本固定します。
※下枠はかい物・当て木等をして水平を出し、モルタルの充てんにより2mm以上の狂いが出ないようにしてください。2mm以上の場合、障子・網戸が建て込めない場合や性能が低下することがあります。



■ねじ一覧表

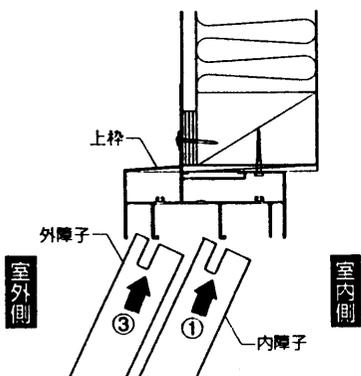
①	②
	
スクルー釘φ2.1×32	皿木ねじφ3.8×45

■施工される方へのお願い

- 本製品は複層ガラス使用のためかなりの重量がかかります。下枠が下がらないようモルタルを充てんしてください。
- 枠は必ず指定のスクルー釘・木ねじで固定し、下枠のモルタルが固まった事を確認してから障子を建て込んでください。
- 開口部を付け枠等でふかす場合は、一体物と同じ強度になるよう取り付けてください。

2 障子の建込み

●図の順に、室外側から建て込みます。



3 建付け調整

①戸車調整

●戸車は、障子が最も下がる状態にセットされています。障子を上げたい場合のみ、プッシュボタンを外して調整します。(調整後はプッシュボタンを押し込んでください。)



②召合キャップ下(召外・召内)の調整

●障子を閉めた状態で召外・召内の下部キャップのねじをゆるめて下げ、下枠に気密ヒシを当ててねじを締めます。比し保護のため、召外・召内の下部キャップは、出荷時に上げてあります。必ず下げて、透き間をなくしてください。

